

# コロナ禍で進められた 令和最初の御柱～その記録～

## 結納の儀 (令和3年12月4日)



御神木が決まり、献木者と結納を交わす御柱実行委員会の役員

## 御柱総見立て (令和3年12月4日)



厳かな雰囲気の中、上條宮司様による神事が執り行われた



コロナ禍のため、マスクを着用して神事を見守る氏子



御神木の印となる「大」の字を刻む、一位杣役年番の中田氏

## 古御柱倒し (令和4年3月12日)



平成29年に建立された御柱は、氏子たちの手によって倒され、6年間の務めを終えた

## 御柱切倒し 木造り (令和4年4月17日/24日)

コロナ禍で山出し、里曳き祭の中止が決定  
トレーラーによって運び出される四位の御柱



一位御柱の切倒しと木造り作業を終えてマスク越しに笑顔を見せる保存会の仲間

## 御柱山出し (令和4年4月24日)



運搬車で神田へと運ばれた一位と四位の御柱  
建立祭まで一年間、風雪に耐えて時を過ごす

## ワラすぐり (令和5年2月12日)

曳き綱作りのためのワラすぐり作業  
簡単そうに見えて、実はなかなか重労働



## 曳き綱繰り (令和5年2月19日)



事前まで人手不足が懸念された綱繰り作業  
当日は100名以上が参加し、活気ある作業現場に力強い掛け声と、笑い声があふれた

## 木遣り練習 令和5年1月～

1月から週3回、木遣り師候補の練習が始まりました。叱咤激励を受けながら、本番直前まで日々精進の練習を重ねます



## 采配用竹取り (令和5年3月18日)

春の暖かい陽気から一変、朝から激しい雪が降る中での采配用竹取り作業となりました



## 采配作り (令和5年3月19日)



鮮やかな色紙を巻き付け、1本ずつ手作業で作られた采配は、2日間で150本が完成!

**5月3日の御柱建立祭に向け、氏子たちの準備作業は続く!**